

## 山田発

### WHOメンバーが被災地視察

5日から岩手医大矢巾キャンパスで開かれる、WHO（世界保健機関）の国際会議を前に、出席者が被災した山田町を視察しました。山田町役場を訪れたのは、近年大地震を経験した中国やニュージーランドなどで保健医療行政に携わる15人です。一行は佐藤町長から町を襲った津波や火災についての話を聞いたあと、現在の町の状況について説明を受けました。会議は災害時の対応を世界で共有することが狙いで、クライストチャーチの地震を経験したニュージーランドからの参加者は、「コミュニティーの積極的な姿勢や復旧・復興へのビジョンがあることに心を打たれた」と感想を述べていました。（3/4



国際会議を前に  
出席者が被災地視察

ニュースエコーより)

## 盛岡発

### 東日本大震災 警察活動写真展

震災の風化を防ごうと、被災地での警察官の活動の様子を記録した写真展が盛岡で開かれています。盛岡市の県立図書館で開かれているこの写真展は県警察本部が企画したものです。会場には全部で56枚の写真が展示されていて、被災者の目線に合わせて、話を聞く警察官の姿や、そして、今も県内だけで1200人近くいる行方不明者捜索にあたる警察官の写真などが、展示されています。（3/4 ニュースエコーより）



震災 警察活動写真展

東日本大震災津波  
警察活動写真展

■ 盛岡・県立図書館  
■ 今月24日まで

## 陸前高田発

### 奇跡の一本松 元の姿に

震災2年を前に被災地復興の象徴が帰ってきました。保存処理が施されモニュメントとなった「奇跡の一本松」の組



奇跡の一本松組み立て作業が完了

み立てがほぼ完了しました。6日は組み立て作業の最終工程が行なわれ、枝や葉のレプリカがクレーンを使って幹に取り付けられました。枝や葉は繊維強化プラスチックで再現されたもので、精密な塗装が施されているほか、幅15メートルに広がる枝は表面の凹凸も在りし日の姿を忠実に再現しています。枝葉のレプリカが取り付けられた事で、27メートルの松をモニュメントにするという、世界的にも例がない作業は、ほぼ終了、今後は継ぎ目部分の塗装や加工など仕上げの工程が行なわれます。陸前高田市では今月22日に完成式典を行いそれから1年間、ライトアップを行う予定です。（3/6 ニュースエコーより）

## 陸前高田発

### さんりく元気ラジオ

今週は陸前高田災害FMの阿部裕美さんが、陸前高田市横田町に新しいコミュニティーを作ることを目的としてコンテナを



置いて営業を始めたパン屋さん「母笑（ガガニコ）」を紹介してくれました。ガガ（お母さん）が笑うという意味で、経営者の田崎美代子さんにお話しを伺いました。材料は陸前高田市産のものを中心とした県産品のみを使用しています。地元の元気なガガさんたちが作るパンは非常に質が高く大好評という事で、地元だけではなく、県内外の方々にもお立ち寄りいただきたいと話していました。（3/6「ワイドステーション」内で放送）



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122